

科目名	精神障害作業治療学	担当教員	松田竜幸 三浦正樹 ※印は実務経験のある教員を示す。
-----	-----------	------	----------------------------------

開講専攻	分野	種別	配当年次	開講時期	単位数	授業形態
作業療法学専攻	専門科目	選択	3年次	前期	2単位	講義

科目概要	生物・心理・社会的側面を持つ精神障害への治療・介入は単一の特殊技能にとどまらず、複合的なアプローチによる協力的、相互作用のかつ多様な作業療法的支援が重要となる。本講座では、各種疾患・障害像から生活障害の起こりやすい状況の理解と特性に合った対応を学習することを基本とし、心理社会的側面の治療的アプローチを題材に、主体的生活者としての対象者について、多面的な理解、より良い予防的かつ効果的なリハビリテーションアプローチ、作業療法アプローチ、治療の構成・構造について、集団的機序を通して意見交換することでさらなる理解を深める。
学習目標	①作業療法評価から治療目標を設定し、有効な治療構造を設定できる ②精神障害領域で行われている治療実践の場や、方法について説明できる ③精神障害領域の作業療法実践の方法を理解し、その適応について説明できる ④精神障害領域の作業療法に関連する理論や治療法について説明できる ⑤精神障害領域のトピックに基づき集団におけるリーダー体験ができる

回	項目	主な学習内容	到達目標	実務経験 教員担当 項目
1	治療構造概説	作業療法の構造と形態	作業療法を成り立たせる構造と構成物と形態についての概要を説明できる	
2	回復段階概説	回復段階に応じた作業療法	各種精神科疾患のそれぞれの病相期・回復段階の異同や作業療法の目的・働きかけを説明できる	
3	コミュニケーションと傾聴	作業療法場面のコミュニケーション（基本的傾聴・積極的傾聴）	面接やコミュニケーションにおける基本的傾聴・積極的傾聴を理解し実践できる	
4	かかわりと記録	かかわり・観察・情報収集・記録の一連	かかわり・観察・情報収集・記録の臨床的なアプローチを連結して使用することができる	
5	記録とレポート	記録・レポートの書き方	実習・臨床での記録の書き方が理解できる	
6	心理教育概説	心理教育の理論と実際	心理教育の理論と実際を理解し、リーダー体験ができる	
7	各種疾患対応(1)	統合失調症と作業療法の取り組み方	統合失調症の作業療法場面の特徴と適切な作業療法の取り組み方を説明できる	
8	各種疾患対応(2)	気分障害と作業療法の取り組み方	気分障害の作業療法場面の特徴と適切な作業療法の取り組み方を説明できる	
9	各種疾患対応(3)	神経症性障害・アルコール依存症・てんかんと作業療法の取り組み方	神経症性障害・アルコール依存症・てんかんの作業療法場面の特徴と適切な作業療法の取り組み方を説明できる	
10	各種疾患対応(4)	パーソナリティ障害・摂食障害と作業療法の取り組み方	パーソナリティ障害・摂食障害の作業療法場面の特徴と適切な作業療法の取り組み方を説明できる	
11	事例評価(1)	オリエンテーション／事例評価計画・評価のまとめ	各グループで症例を決定し、議論を行い、症例の全体像をまとめることができる	
12	事例評価(2)	事例評価およびプログラムの概略	各グループで議論を行い、プログラムの概略までまとめることができる	
13	事例評価(3)	プレゼンテーション・質疑応答(1)	精神科作業療法の視点に沿った事例評価内容のプレゼンテーションを行うことができる	
14	事例評価(4)	プレゼンテーション・質疑応答(2)	精神科作業療法の視点に沿った事例評価内容の発表に対し、建設的な視点で意見効果や議論ができる	

15	事例評価(5)	作業療法プログラムの立案方法と効果判定方法	精神科作業療法プログラム立案方法と効果判定方法を理解する
	評価方法	筆記試験(100%)	
	教科図書	山根 寛：精神障害と作業療法 第3版（三輪書店） 上野 武治：標準理学療法・作業療法学 精神医学 第3版（医学書院）	
	参考図書	香山明美・小林正義・鶴見隆彦編著：生活を支援する精神障害作業療法－急性期から地域実践まで－ 第2版（医歯薬出版株式会社）	
	学習の準備	指定した教科書，もしくは事前に配布した資料については予習しておくこと	
	オフィスアワー	講義1回目のガイダンスで説明する。	
	担当教員欄に※印を附した教員の実務経験		